

At what risk? (仮訳)

公共の緊急事態における 医師の義務

Tamra Lysaght
Asia Research Institute
National University of Singapore

Introduction

- 大規模災害は国民の緊急事態である
 - 医療資源および専門知識の高い需要
 - 医療サービスの需要が悪化
 - 医療専門スタッフ自身の負傷
 - 職場へのアクセス不可
 - インフラおよび交通機関のダメージ
 - 被災地への出向または滞在を望まない
 - 病院の人員不足や医療援助を必要とする患者の流入に対処できなくなる可能性

Introduction

- 困難な決断
 - 医療を提供するために、医師は職務と個人的なコミットメントとのバランスをとる必要がある。



Introduction

- 医師は、災害時にどのような法的および道徳的な義務があるか?
 - 災害時の健康に関するSTS Handbook
 - 児玉聡准教授 京都大学 倫理学
 - FMUの医師たちに触発
 - 2つの状況(シナリオ)が考えられる:
 1. 被災地またはその近辺で業務を行う医師
 2. 被災地の遠方で業務を行う医師

法律と倫理

- 倫理とは何か?
 - 他人への個人の行為
 - 患者への医師の行為
 - 医師が患者の利益のために行動しないと、非倫理的な医療行為となる。
 - 患者の最良の利益のために働く医師は、非倫理的な行為はほとんどない。
 - 倫理的な行為は、他の方々の利益になる
 - 医師は、個人的な利益よりも患者の利益を優先するという、プロとしての義務を担っている

法律と倫理

- 法律とは何か？
 - 個人の行為に対する異なった期待
 - 他人の利益のために働くよりも、合理的に。
 - 医師は、同情を寄せるべきだが、すべての状況で医師にそれを要求するのは合理的ではない。
 - 法律は制裁を通して規則を実施する。
 - 倫理は、他人からの賞賛や批判のような、誠実さや社会的影響により導かれる。
 - 医師の違法的な行為は、刑事問題に直面するか医師免許を失う可能性もある
 - 思いやりに欠ける医師は非難されるかもしれないが、法のもと処罰の対象とはならない。

法律上の義務

- 医師法 (MPA)

- 第19条1項

- 診療に従事する医師は、診察治療の求があった場合には、正当な事由がなければ、これを拒んではならない。
 - この法律は、医師が現在担当している患者に関連して適用される。
 - 職務放棄に対する罰則規定はない。
 - 医師が職場を去るか退職する。

法律上の義務

- 刑法

- 第218条 (保護責任者遺棄等)

- [...]又は病者を保護する責任のある者がこれらの者を遺棄し、又はその生存に必要な保護をしなかったときは、懲役に処する。

- 医師が、患者のために転院の措置をとった場合は、適用されないこともある。
- 入院患者がケアを必要としている場合に限定されるが、転院などの患者への支援を何も行わない場合は適用される。

法律上の義務

- 日本医師会(JMA) 医師の職業倫理指針
 - Section 2(8) interprets Article 19(1) of MPA
 - 特に緊急治療を必要とする場合、医師は医療を提供しなければならない。
 - 「正当な理由」がある場合、医師は拒否することができる。
 - 専門分野外、診療時間外および過去の治療費不払い
 - 論点は「単なる理由」としての使用である。
 - Section 2(9)
 - 緊急時には、医師は自発的に可能な範囲内で診療にあたるべきである。

日本における法律上の義務

- 医師は法的には必要がないかもしれない..
 - 災害時に負傷した人と医師患者関係を結ぶ、もしくは被災地やその周辺にとどまること。
 - 医師が被災地に赴いたり、そこでの支援を義務づける法律はない。
- 可能であれば支援するという職業倫理

倫理的な義務

- 医師は、被災患者を治療することが道徳的に義務付けられているか？
 - 非常事態時に、医師が自身の危険を顧みずに患者を治療することが義務付けられるべき、ということに同意する人は少数。
 - 例；医師が、急性期（災害発生直後）に自分自身を危険にさらすことは期待されない。
 - 急性期の後、医師が支援を行う義務があると多数の人が主張している
 - 慢性期の、まだ十分には解明されていない潜在的な健康リスクもあるが。

倫理的な義務

- 義務のための倫理的な正当化
 - 医師は特別なトレーニングを受ける
 - 明示または黙示の同意
 - 相互利益 (社会契約)
 - 職業誓約および倫理規範
 - 医学界との広い連携
 - 同僚の支援

倫理的な義務

- 義務のための倫理的な正当化
 - 個人的なコミットメント
 - 被害の種類は不明の可能性
 - 社会的利益は個人間でことなる
 - 負担の不公平な分配
 - 倫理規範/誓約は曖昧すぎる

倫理的な義務

- 「とどまるか、行くか」の決断は困難である可能性が高い
 - とどまる決断..
 - 医療を提供するために被災地にとどまるかまたは離れるかという強い願望-「ドクターコール」
 - 少数の医師の支援しか得られなければ、確実に激務を強いられるであろう同僚や雇用者を支援するという強い意欲
 - 行く決断..
 - 幼い子供や高齢者の両親と暮らす医師は、彼らの福祉を心配し、血縁のない患者の健康以上に家族の安全保障の必要性を強く感じるかもしれない。

倫理的な義務

- 良い医師とはどういう意味か？
 - 徳の倫理の規範的アプローチ
 - 倫理的行動の決定要因としての特性と価値の具体化を考慮する。
 - 例；勇敢で、利他的そして無欲さが、非常事態時に行動できる良い医師の特徴といえるかもしれない。
 - 災害時に支援するという決断を認識することは、社会契約から期待されているもの以上かもしれない
 - 医師が緊急時に直面するであろう、多くの矛盾した義務を調和させるのに役立つ。

Conclusion

- *良い医師が非常事態時にどのように行動するか、という価値観や徳性を明確にするために、さらなる研究が必要。*
- For inspiration, we need not look far..

